

平成30年度

# 入学者選抜要項

平成29年7月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

# 目 次

1. アドミッションポリシー	1
2. 学部・学科及び入学定員等	2
〔表1〕(その1) 平成30年度東京藝術大学入学者選抜方法等(一般入試, 専門高校・ 総合学科卒業生入試, アドミッション・オフィス入試)	3
〔表1〕(その2) 平成30年度東京藝術大学入学者選抜方法等(特別入試)	3
(一般入試)	
3. 出願資格	4
4. 試験日程・出願期間	4
5. 選抜方法	
(1) 大学入試センター試験	5
(2) 個別学力検査	5
(3) 実技検査(音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表日予告を含む。)	5
(4) 小論文	6
(5) 面接	7
(6) その他	7
〔表2〕個別学力検査等の日程	8
〔表3〕平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(美術学部)	9
〔表4〕平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)	10
6. 私費外国人留学生	11
(特別入試)	
7. 帰国子女入試	12
〔表5〕平成30年度東京藝術大学帰国子女入試	12
8. 東京藝術大学音楽学部SSP(Special Soloist Program)[飛び入学]入学者選抜	13
〔表6〕平成30年度東京藝術大学音楽学部SSP(Special Soloist Program)[飛び入学]	14
9. 音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と 「外国教育課程出身者特別入試の実施」について	15
〔表7〕平成30年度東京藝術大学音楽学部「外国教育課程出身者特別入試」概要	16
10. 障害のある入学志願者の事前相談について	17
11. 平成30年度東京藝術大学美術学部芸術学科入学者選抜(一般入試)の 実施日程の一部変更について(予告)	18
12. 平成30年度東京藝術大学美術学部彫刻科の入学者選抜(一般入試)の 個別実技検査等の変更について(予告)	18
13. 平成31年度東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻入学者選抜(一般入試)の 一部変更について(予告)	18
14. 平成30年度東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻入学試験内容の 変更について(予告)	19
15. 個人情報の取扱いについて	20
16. 学部・学科の内容	21
17. 本学のキャンパス	23
18. 学生募集要項(一般入試)について	24

本要項は、本学における入学者選抜の基本的事項について記載したものです。  
個別学力検査等の実施日時、出願手続、出願用紙類等を含めた「**学生募集要項**」  
は、別途発表します。発表時期等については、24頁を参照してください。

# 1. アドミッションポリシー

## 【美術学部】

美術学部では、ディプロマ・ポリシーに適う人材を選抜するために、大学入試センター試験に加え、個別学力検査を行っています。大学入試センター試験においては、入学後に必要とされる知識のレベルを判定し、個別学力検査においては、入学後の専門教育を行う上で必要な能力を審査する実技試験等を実施しています。この個別学力検査では、技能に加え創造性や表現力等を審査しますが、実施にあたっては各科および専攻の特性を最大限に尊重した内容としています。美術学部を志望する受験生には、主体的かつ継続的に技能や表現力を向上させる努力とともに、創造性を高めるための幅広い分野の学習を期待しています。

## 【音楽学部】

音楽学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目標に適う人材を育成するために、音楽の各分野における表現・創造・研究に対し、本学の伝統を継承しつつ新たな歴史を刻もうという強い意志と意欲を持った方を求めます。よって、演奏系専攻には高い音楽の基礎能力に裏打ちされた、優れた演奏技術と芸術的感性を、創作・研究系専攻には優れた音楽的能力だけでなく、従来の枠を超えた音楽芸術の創造を目指し、研究に対し創造性と批評性を併せ持った人材を期待します。よって選抜試験においては大学入試センター試験の結果に加え、各専攻別に独自の実技試験を行い、多様な評価方法による選抜を行います。

## 2. 学部・学科及び入学定員等

学 部	学 科		入学定員 (人)	募 集 人 員 (人)			備 考
				前期日程	後期日程	帰国子女	
美術学部	絵画科	日本画専攻	25	25	—	—	帰国子女の募集 人員は若干人で 24人の中に含む。
		油画専攻	55	55	—	—	
	彫 刻 科	20	20	—	—		
	工 芸 科	30	30	—	—		
	デ ザ イ ン 科	45	45	—	—		
	建 築 科	15	15	—	—		
	先 端 芸 術 表 現 科	24	24	—	若干人		
	芸 術 学 科	20	20	—	—		
	小 計	234	234	—	—		
音楽学部	作 曲 科	15	15	—	—		
	声 楽 科	54	54	—	—		
	器 楽 科	98	98	—	—		
	指 揮 科	2	2	—	—		
	邦 楽 科	25	25	—	—		
	楽 理 科	23	23	—	—		
	音 楽 環 境 創 造 科	20	20	—	—		
	小 計	237	237	—	—		
合 計		471	471	—	—		

(注) 本学においては、2段階選抜、推薦入試、専門高校・総合学科卒業生入試、社会人入試、AO入試及び欠員補充第2次募集は行わない。

〔取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降に対して授業を行う。千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行う。その他はすべて上野校地で授業を行う。〕

上記の他に、下記の東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜及び外国教育課程出身者特別入試の募集があります。

東京藝術大学音楽学部SSP入学者選抜

学 部	学 科 等	募集人員	備考
音楽学部	器楽科ピアノ専攻	若干名	募集人員(若干名)は前期日程の募集人員に含む。
	器楽科弦楽専攻 ヴァイオリン	若干名	
	器楽科弦楽専攻 チェロ	若干名	

外国教育課程出身者特別入試

学 部	学 科 等	募集人員	備考
音楽学部	全学科	若干名	募集人員(若干名)は前期日程の募集人員に含む。

〔表1〕(その1)

平成30年度東京藝術大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等		個別学力検査等								専門高校・総合学科卒業生入試					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考(欠員の補充の方法等)	
		実技検査等				2段階選抜				実技検査等								募集人員
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その者に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する				
美術学部	日本画	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	頁	
	油画	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	彫刻科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	工芸科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	デザイン科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	建築科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	※2 先端芸術表現科	×	※1 ○	×	※3 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
音楽学部	芸術学科	○	※4 ○	×	※5 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	頁	
	作曲科	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	声楽科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	器楽科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	指揮科	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	邦楽科	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	※7 音楽環境創造科	○	○	×	※6 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
※8 ○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

備考 ○印は、本学の学部・学科(専攻)により個別学力検査、実技検査等を課するものを示す。  
 ※1・3 美術学部先端芸術表現科の第1次試験における実技検査又は小論文は、出願時に志願者がいずれかを選択する。  
 ※2 美術学部先端芸術表現科の受験者は、予め個人資料ファイルを提出する。【7頁(6)その他参照】  
 ※4・5 美術学部芸術学科の小論文又は実技検査は、出願時に志願者がいずれかを選択する。  
 ※6 音楽学部楽理科の小論文については、口述試問を含む。  
 ※7 音楽学部音楽環境創造科の志願者は、志望理由書(800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出すること。  
 ※8 音楽学部音楽環境創造科の面接については、自己表現を含む。

〔表1〕(その2)

平成30年度東京藝術大学入学者選抜方法等(特別入試)

選抜方法等		推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別入試			備考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。								推薦入試募集人員				
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等			その他		帰国子女	中国引揚等子女	社会人			
美術学部	先端芸術表現科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	

## (一般入試)

### 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、本学の学部・学科で定める平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）の教科・科目のすべてを受験した者とする。

【表3】9頁・【表4】10頁参照】

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までに、これに該当する見込みの者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - エ 文部科学大臣の指定した者
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、18歳に達した者
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（補足）出願資格（3）カにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。提出締切期限は、①大学入試センター試験に出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、平成29年8月31日（木）までとし、②大学入試センター試験に出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、平成29年12月21日（木）までとする。

### 4. 試験日程・出願期間

本学の個別試験は、美術学部・音楽学部共に分離分割方式の前期日程により実施する。

本学（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の他の大学・学部に出願できない。

他の国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施した大学・学部の定める推薦入試辞退手続により辞退を許可された場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

他の国公立大学・学部のAO入試に合格し、入学手続を完了した者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

また、国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し、平成30年3月15日（木）までに入学手続を行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意すること。

(1) 個別試験の検査項目等については、【表1】（その1）平成30年度東京藝術大学入学者選抜方法等（一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試）（3頁）・【表2】個別学力検査等の日程（8頁）により実施する。

(2) 最終合格者の発表は、美術学部が平成30年3月13日（火）に、音楽学部が平成30年3月12日（月）に行う。

(3) 個別試験の出願期間は、平成30年1月22日（月）から1月31日（水）までとする。

音楽学部SSP入試を除くすべての学部入試はインターネットにより出願を受け付ける。インターネット出願の上、上記期間内の消印で郵送された願書に限り受け付ける。

### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査、実技検査、小論文、面接並びに出身学校長から提出された調査書の各資料を総合して判定する。

本学の個別試験は、数次に分けて選抜を行い、それぞれ合格者を発表する。合格しない者は、次の試験は受験できない。【表2】8頁参照】

## (1) 大学入試センター試験

受験を要する教科・科目は、〔表3〕平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）（9頁）、〔表4〕平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）（10頁）により実施する。**各学部学科（専攻）が定める大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験すること。指定したとおりに受験していない者は、無資格者（失格）扱いとなる。なお、その場合には納入した検定料の一部が申請により返還される。**

また、本学においては英語のリスニングテストを課しているため、外国語の筆記試験「英語」を選択受験した場合は、必ずリスニングテストも受験すること。受験しなかった場合も同様に、無資格者（失格）扱いとなる。

※本学では、大学入試センター試験の過年度成績は、利用しない。

## (2) 個別学力検査

### 美術学部

学 科	教 科	科 目
芸 術 学 科	地 理 歴 史	世界史B, 日本史Bから1科目を選択
	外 国 語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ）、ドイツ語、フランス語から1科目を選択

（絵画科、彫刻科、工芸科、デザイン科、建築科及び先端芸術表現科は課さない。）

### 音楽学部

学 科	教 科	科 目
楽 理 科	国 語	国語（国語総合・現代文B・古典B）
	外 国 語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ）、ドイツ語、フランス語から1科目を選択
音 楽 環 境 創 造 科	音 楽	音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。

（作曲科、声楽科、器楽科、指揮科及び邦楽科は課さない。）

## (3) 実技検査（音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表日予告を含む。）

### 美術学部

学 科	検 査 科 目	
絵 画 科	日本画専攻	鉛筆素描, 着彩写生
	油画専攻	素描, 絵画
彫 刻 科	素描, 彫刻	
工 芸 科	鉛筆写生, 平面表現, 立体表現	
デ ザ イ ン 科	鉛筆写生（注1）, デザインⅠ（色彩）, デザインⅡ（形体）	
建 築 科	空間構成, 総合表現	
先 端 芸 術 表 現 科	素描（注2）, 総合実技	
芸 術 学 科	鉛筆素描（石膏像）（注3）	

（注1）デザイン科の第1次試験「鉛筆写生」は、石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に、志願者が選択する。

（注2）先端芸術表現科は、実技検査（素描）又は小論文のいずれかを出願時に、志願者が選択する。

（注3）芸術学科は、小論文又は実技検査（鉛筆素描）のいずれかを出願時に、志願者が選択する。

## 音楽学部

学 科	検 査 科 目
作 曲 科	専攻実技，聴音書き取り，楽典，新曲視唱，リズム課題，副科ピアノ，ピアノ新曲
声 楽 科	専攻実技（新曲視唱・リズム課題・コールユーブンゲンを含む），聴音書き取り，楽典，副科ピアノ
器 楽 科 (ピアノ)	専攻実技，聴音書き取り，楽典，新曲視唱，リズム課題
器 楽 科 (オルガン，弦楽，管打楽)	専攻実技，聴音書き取り，楽典，新曲視唱，リズム課題，副科ピアノ
器 楽 科 [古楽（バロックヴァイオリン，リコーダー，チェンバロ）]	専攻実技，聴音書き取り，楽典，新曲視唱，リズム課題
指 揮 科	専攻実技，楽典，副科ピアノ，和声
邦 楽 科	専攻実技，楽典
楽 理 科	聴音書き取り，楽典，新曲視唱，リズム課題，副科実技(注1)，和声
音 楽 環 境 創 造 科	実技検査を課さない。

(注1) 楽理科の副科実技は，ピアノ，オルガン，弦楽器，管打楽器，チェンバロ，邦楽器のいずれかで受験する。  
 なお，ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）の試験曲は，ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である（ヴァイオリン及び邦楽器については，課題曲を定める）。

### ●音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表について

試験課題曲・試験内容は，以下の日時に本学ホームページ（アドレス<http://admissions.geidai.ac.jp/undergraduate/music/application/>）に掲載する。

発 表 内 容	発 表 日 時
声楽科の専攻実技課題曲	平成29年9月8日（金）午後4時以降
声楽科以外の科の専攻実技課題曲	平成29年10月6日（金）午後4時以降
楽理科，音楽環境創造科の試験内容	
「聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・ピアノ新曲・和声」試験内容	
副科ピアノ課題曲	
楽理科のピアノ以外の副科実技課題曲	

## (4) 小論文

美術学部先端芸術表現科及び芸術学科は，出願時に小論文を選択した者に課する。

音楽学部楽理科は，小論文（口述試問を含む。），音楽環境創造科は，小論文を課する。



## (5) 面接

音楽学部作曲科，邦楽科及び音楽環境創造科は，面接を行う。

(注) 音楽学部音楽環境創造科の面接は，自己表現を含む。

## (6) その他

美術学部先端芸術表現科の受験者は，予め個人資料ファイル（受験者の活動内容をまとめたもの。）を提出しなければならない。〔個人資料ファイル提出期間：平成30年2月13日（火）～2月20日（火）必着〕

音楽学部音楽環境創造科の志願者は，志望理由書（800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書とともに提出しなければならない。

〔表2〕

個別学力検査等の日程

学部・学科等名		選抜方法等	個別学力検査等の日程	
美術部	絵画科	日本画	1次(実技) 3月1日, 2日 2次(実技) 3月5日, 6日	
		油画	1次(実技) 2月25日 2次(実技) 3月6日, 7日, 8日	
	彫刻科		1次(実技) 3月4日 2次(実技) 3月7日, 8日	
	工芸科		1次(実技) 3月2日 2次(実技) 3月5日, 6日	
	デザイン科		1次(実技) 石膏像デッサン2月27日 1次(実技) 構成デッサン2月28日 2次(実技) 3月8日, 9日	
	建築科		実技 3月6日 ※一次合格者選抜は行わない 実技 3月7日	
	(注1) 先端芸術表現科		1次(実技) 2月25日 又は(小論文) 2月26日 2次(実技) 3月2日, 3日	
(注2) 芸術学科		学力 2月27日 ※一次合格者選抜は行わない 小論文又は実技 2月28日		
音楽部	作曲科		1次(実技) 2月25日 2次(実技) 2月27日 3次(実技) 3月3日 4次(実技, 面接) 3月7日	
	声楽科		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月2日, 3日 3次(実技) 3月5日, 7日	
	器楽科	ピアノ		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月3日, 4日, 5日 3次(実技) 3月7日
		オルガン		(試奏日 2月26日) 1次(実技) 2月27日 2次(実技) 3月5日 3次(実技) 3月7日
		弦楽		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月4日, 5日 3次(実技) 3月7日
		管打楽		1次(実技) 2月25日, 26日, 27日 2次(実技) 3月3日, 4日, 5日 3次(実技) 3月7日
	古楽		1次(実技) 3月5日 2次(実技) 3月7日	
	指揮科		1次(実技) 2月26日 2次(実技) 3月2日 3次(実技) 3月6日, 7日	
	(注3) 邦楽科		1次(実技) 2月26日, 27日 2次(実技, 面接) 3月5日 3次〔実技(楽典のみ)〕3月7日	
	楽理科		1次(学力) 2月27日 2次〔実技, 小論文(含, 口述試問)〕3月3日, 4日, 5日, 6日, 7日, 8日 (注) 3月3日, 4日, 5日については, 副科実技をピアノ以外の楽器で受験する者を対象とする。	
音楽環境創造科		1次(学力) 2月25日 2次(小論文) 2月27日 〔面接(含, 自己表現)〕3月3日, 4日, 5日, 6日		

(注1) 美術学部先端芸術表現科1次は, 実技検査又は小論文のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

(注2) 美術学部芸術学科は, 小論文又は実技検査のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

(注3) 音楽学部声楽科1次・2次, 音楽学部器楽科(ピアノ)1次・2次, 音楽学部音楽環境創造科2次(面接)は志願者ごとに日程が異なる。

音楽学部器楽科(弦楽・管打楽)1次・2次, 音楽学部邦楽科1次, 音楽学部楽理科2次(副科実技)は専攻楽器等の種類により日程が異なる。ただし, 同一専攻楽器でも志願者ごとに日程が異なることがある。

【表3】平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び入学予定年度 (志願年度)		大学入試センター試験の利用教科・科目名 ※(必)は必須科目、(選)は選択科目			個別学力検査等		その他の 選抜 方法等
学科	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	2段階 選抜	その他の 選抜 方法等
美術学部 12.6倍	日本画 25人	前期			受験を要する 教科・科目数	-	追加合格
		学力検査 の 日程	国語 [英語(120分以内を含む)]、「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」		
234人 前期のみ	油画 55人	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
彫刻科 20人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
工芸科 30人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
デザイン科 45人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
建築科 15人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
先端芸術 表現科 24人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
芸術学科 20人	国語(選) 外国語(選)	前期	国語(選) 外国語(選)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(選) 外国語(選)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目

大学入試センター試験の配点等			個別学力検査等		その他の 選抜 方法等		
学部・学科等名 及び入学予定年度 (志願年度)	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	2段階 選抜	
美術学部 12.6倍	日本画 25人	前期			受験を要する 教科・科目数	-	追加合格
		学力検査 の 日程	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」		
234人 前期のみ	油画 55人	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
彫刻科 20人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
工芸科 30人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
デザイン科 45人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
建築科 15人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
先端芸術 表現科 24人	国語(必) 外国語(必)	前期	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(必) 外国語(必)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
芸術学科 20人	国語(選) 外国語(選)	前期	国語(選) 外国語(選)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目
		学力検査 の 日程	国語(選) 外国語(選)	国語 [英語(120分以内を含む)],「ドイツ語」,	外国語 [フランス語],「中国語」,	中国語 [韓国語],「韓国語」	から1科目

【注1】個人資料ファイル(受験者の活動内容をまとめたもの)を提出しなければならぬ。

【注2】理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎の4科目の中から2科目、又は、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。

【表4】平成30年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成29年度) (志願倍率)	学術検査等の 区分・日程	前期 別紙 日程 のとおり	入学試験センター試験の利用教科・科目名 ※ (必) は必須科目、(選) は選択科目		個別学力検査等		その他の 選抜 方法等
			教科	科目名等	教科等	科目名等	
音楽学部 作曲 15人 3.8倍	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ・ピアノ新曲)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
237人 前期のみ	5人	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
器楽科 オルガン 弦楽器 98人	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
指 揮 科 2人	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
邦 楽 科 25人	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
楽 理 科 23人	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽 典・新曲視唱・リズム課題・ 副科ピアノ)	-	指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。「外国語」のうち「英語」 を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、最終判定に用いる。個別学力検査等の成績を重視する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	その他		
音楽環境 創造科 20人	前期のみ	別紙 日程 のとおり	国語 (必)	国語	小論文 (口述試験を含む)	-	指定した教科・科目の配点は「国語200点」、「外国語200点」、「地理歴史、公民、数学、理科のうち1教科100 点」とし、合計500点とする。 「地理歴史、公民、数学、理科」に関しては、指定した教科・科目数を超えて受験した場合、これらのうち 最も得点の高い教科1科目 (物理基礎、化学基礎、生物基礎及び地学基礎を受験した場合は2科目の合計得点) を優遇対象とする。 ただし、「地理歴史、公民、理科 (基礎を付していない科目)」において、2科目受験した場合は、第1解答科 目の成績を評価対象とする。 ※理科 (基礎を付していない科目) とは、物理、化学、生物及び地学を指す。 ※「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、筆記の他にリスニングを課す。なお、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を200点満点に圧縮したものを「英語」の評価とする。 センター試験の成績は、1次・最終判定に用いる。センター試験の成績及び個別学力検査等の成績を総合し て判定する。
			外国語 (必)	英語 (フランス語を含む)、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目	音楽 その他		

【注1】音楽 (音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) は高等学校で使用されている音楽の教科書の音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 種を範囲とする。

【注2】志望理由書 (800字以内、所定用紙に手書きで記入のこと) を願書とともに提出しなくてはならない。

【注3】楽理科と音楽環境創造科における理科の選択科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目、又は、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目のいずれかとする。

【注4】音楽学部 S S P [飛び入学] 入学者選抜は器楽科ピアノ専攻・弦楽専攻 (ヴァイオリン、チェロ) で実施する。

## 6. 私費外国人留学生

外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。

大学入試センター試験は課さないが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度「日本留学試験」を本学が定めた（下記『「日本留学試験」出題科目等について』を参照）とおり受験しなければならない。美術学部募集人員は入学定員内として若干人、音楽学部募集人員は入学定員外として若干人であり、本学が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料等を総合して判定する。

### 出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
- (3) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
- (4) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるヨーロピアン・カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

(注) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者は対象とならない。

(注) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格の必要な科目数・評価については、学生課入学試験係まで問い合わせること。

平成29年度「日本留学試験」については、下記まで問い合わせること。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

所在地 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457

ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

### 「日本留学試験」出題科目等について

○美術学部（建築科，先端芸術表現科）

「日本語」，「数学」，「理科」又は「日本語」，「数学」，「総合科目」のいずれかを受験すること。

・数学の「コース1」と「コース2」の選択は、受験者本人が行うこと。

・「理科」の物理・化学・生物から2科目選択は、受験者本人が行うこと。

○音楽学部，美術学部（建築科，先端芸術表現科以外の学科）

「日本語」及び「総合科目」を受験すること。

○共通事項

1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもよい。

2. 渡日前の入学許可は行わない。（外国において本学の入学者選抜は行わない。）

3. 6月・11月実施のいずれの試験を受験してもよい。

(特別入試)

## 7. 帰国子女入試

美術学部先端芸術表現科において帰国子女入試を実施する。【〔表 1〕(その 2) 3 頁及び〔表 5〕12頁参照】

〔表 5〕

### 平成30年度東京藝術大学帰国子女入試

実施学部・学科名	美術学部 先端芸術表現科
募集人員	若干人(一般入試の募集人員24人に含む。)
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、外国の学校教育を受けている者のうち、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を平成28年(2016年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを、平成28年(2016年)又は平成29年(2017年)に取得した者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、一般入試志願者と同一の試験により選抜する。</p> <p>第1次：実技(素描)又は小論文 第2次：総合実技</p> <p>※第1次試験は、志願者が出願時に実技(素描)又は小論文のいずれかを選択する。</p> <p>志願者は個人資料ファイル等(一般入試志願者と同様のもの)を提出しなければならない。</p> <p>[個人資料ファイル提出期間：平成30年2月13日(火)～2月20日(火)必着]</p>
出願期間	<p>平成30年1月4日(木)～平成30年1月11日(木)</p> <p>※インターネットによる出願の上、上記期間内の消印で必要書類を郵送すること。</p>
選抜期日	<p>先端芸術表現科の一般入試志願者と同一期日</p> <p>第1次：平成30年2月25日(日)(実技選択者)、26日(月)(小論文選択者)</p> <p>第2次：平成30年3月2日(金)、3日(土)</p>
最終合格発表日	平成30年3月13日(火)
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>この選抜に関する学生募集要項は平成29年11月頃に本学入試情報サイトに掲載する予定です。</li><li>本学美術学部個別試験(一般入試…分離分割方式の前期日程)を併せて受験する場合、先端芸術表現科及び上記日程と試験期日が重なる絵画科日本画専攻、絵画科油画専攻、工芸科への出願は認めない。</li></ul>

## 8. 東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜

音楽学部器楽科において東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜を実施する。【13頁及び〔表6〕14頁参照】

### 東京藝術大学音楽学部SSPの趣旨・目的等

東京藝術大学音楽学部SSPの目的は、音楽分野における卓越した才能を高度に発展させ、我が国はもとより世界的な音楽文化の振興に対して生涯にわたって貢献する個性的・先駆的な人材を戦略的に育成することです。類い希な表現力や高度な専門的スキル、強靱なメンタル等のきわめて優れた資質・能力を有し、将来的に国際舞台での活躍を志す若者に対して、入学当初から特色ある高度な大学教育の機会を提供するものです。

なお、本プログラムの特徴として、次の特別カリキュラム等が用意されます。

- 1) 個人レッスン時間を通常カリキュラムから倍増すること
- 2) 海外一流演奏家による特別レッスンはじめ、海外一流音楽大学等への留学や国際舞台における演奏の機会等を優先的に提供すること
- 3) 選択科目は実技教員と検討の上、自由な組み合わせ（語学科目に重点を置く等）が可能となること
- 4) 成績優秀者については、学部を3年間で早期卒業して、大学院進学や海外留学を可能とする特別カリキュラムを編成するとともに、授業料免除や特別奨学金による経済的支援を開始すること
- 5) 複数教員による手厚い指導・サポート体制等、充実したキャリア形成支援を行うこと

本プログラムでは、世界最高水準の指導体制・教育環境のもと、質の高い専門実技教育や、それを支える音楽理論等の幅広い学びを通じて、技術や知性、感性を徹底的に磨き上げることにより、将来、国際的な音楽家として新たな地平を開拓し歴史に名を刻む強い意志と意欲を持った学生を求めています。

### 入学者選抜における基本方針

提出書類（自己推薦書、推薦書、調査書等）、専攻実技試験、基礎能力検査及び面接により、多角的な視点から学生の資質・能力を評価し、総合的に可否を決定します。

- ・ 自己推薦書では、国際コンクールにおける入賞歴等、これまでの音楽活動における顕著な業績などを高く評価します。
- ・ 推薦書及び調査書等では、早期に大学教育を受けるために必要な基礎学力などを評価します。
- ・ 専攻実技試験、基礎能力検査及び面接では、海外一流演奏家にも参画していただく場合もあり、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価します。

### 入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校における基礎的な学力を修得していること。さらに、専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力を身に付けていることを望みます。

〔表6〕

平成30年度東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学]

実施学部・学科等名	音楽学部器楽科 ピアノ専攻, 弦楽専攻 (ヴァイオリン, チェロ)
募 集 人 員	若干名
出 願 要 件	<p>学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者で、次の二つの要件を満たし、高等学校長等が責任をもって推薦するもの</p> <p>(1)現在、高等学校2年に在学している者で、平成30年3月31日において年齢が満17歳以下の者(高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験合格者は、満17歳の者)</p> <p>※外国人留学生も出願することができる。</p> <p>(2)次の専攻のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ専攻:ピアノに関して優れた資質を有し、その探求を志す者で、国際的に著名なコンクール等での入賞経験、又はそれと同等の能力を持つ者。</li> <li>・弦楽専攻:弦楽に関して優れた資質を有し、その探求を志す者で、国際的に著名なコンクール等での入賞経験、又はそれと同等の能力を持つ者。</li> </ul>
選 抜 方 法 等	<p>第1次選考:書類審査</p> <p>第2次選考:専攻実技試験, 基礎能力検査, 面接</p>
出 願 期 間	<p>平成29年11月1日(水)~平成29年11月7日(火)</p> <p>郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とします。</p> <p>(注)入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものは受理しないので注意してください。</p>
選 抜 期 日	<p>第1次選考 平成29年11月13日(月)に本人宛に合否通知を郵送します。</p> <p>第2次選考 平成29年11月18日(土) ピアノ専攻「専攻実技試験, 面接」 平成29年11月19日(日) ピアノ専攻「基礎能力検査」 弦楽専攻「専攻実技試験, 基礎能力検査, 面接」</p>
最終合格発表日	<p>平成29年12月1日(金)</p> <p>※本人及び推薦書を作成した高等学校長等宛に合否通知を郵送します。</p>
そ の 他	<p>・この選抜に関する学生募集要項は平成29年7月中旬に本学ホームページで公表及び配付を実施しています。</p>



## 9. 音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

### (1) 「英語の資格・検定試験の活用」について

音楽学部「作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科」入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の「英語」については、「英語の資格・検定試験」のスコア等の提出を認め、次に掲げるいずれかの水準を超えている場合には、大学入試センター試験における「英語」の成績を満点とみなして扱う。ただし、その場合であっても、大学入試センター試験における「外国語」は受験しなければならない。

対象となる「英語の資格・検定試験」及び「スコア・等級」

- ・実用英語技能検定（英検） 準1級以上
- ・IELTS バンド5.5以上
- ・TOEFL iBT 72点以上
- ・TOEIC 785点以上

注1: 対象となる「英語の資格・検定試験」は、平成28年2月以降に受験した試験に限る。ただし、「実用英語技能検定（英検）」については、二次試験を平成28年2月以降に受験した試験とする。

注2: 対象は「英語の資格・検定試験」の公式スコアとし、TOEFL ITP, TOEFL Junior Comprehensive, TOEFL PBT, TOEIC IP は対象としない。

### (2) 「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

音楽学部「全学科」において「外国教育課程出身者特別入試」を実施する。

#### 1. 趣旨

近年、諸外国での教育制度や国際バカロレアのカリキュラムの下で学ぶ者の数は増加しており、これらを通じて多様な文化・言語に触れ、基礎的学力を身に付けた者に対して、本学の優れて高度な大学教育の機会を提供することは、その国際的な素養を大きく発展させる契機となるだけでなく、本学の教育環境の多様性を一層深め、国際舞台で活躍できる有為な人材を育成することが可能となるものと期待できる。

このため音楽学部全学科において、次のとおり外国教育課程出身者に対して特別選抜を実施する。

#### 2. 入学者選抜における基本方針

外国教育課程出身者特別入試では、優れた音楽的能力のみならず、入学後の教養教育に十分に対応できる知識と、国際的な視野やコミュニケーション能力を備えていることを重視する。

- ・出願書類（志望理由書、成績証明書等）により、幅広い分野の基礎知識や能力、日本語及びその他言語のコミュニケーション能力などを評価する。
- ・実技検査では、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価する。
- ・面接では入学後、日本語で行われる授業内容を充分理解しうる日本語能力などを評価する。

#### 3. 入学までに身に付けて欲しいこと

専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力、主体的に学ぶための知識や思考力、国際的な視野、日本語及びその他言語によるコミュニケーション能力を身に付けていることを望む。

〔表7〕

平成30年度東京藝術大学音楽学部「外国教育課程出身者特別入試」概要

実施学部・学科名	音楽学部全学科
募 集 人 員	若干名（一般入試の募集人員を含む。）
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成28年（2016年）4月1日から平成30年（2018年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。</p> <p>ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 次の資格のいずれかを平成28年（2016年）又は平成29年（2017年）に取得した者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>（注）日本における認定校出身の有資格者及び資格取得見込み者を含む。</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、出願書類及び本学が実施する一般入試志願者との個別試験により選抜する。また、全学科、日本語による面接を課す。</p> <p>※志願者は志望理由書（800字以内。所定の用紙に日本語、手書きで記入のこと）を願書とともに提出しなければならない。</p>
出 願 期 間	平成30年度音楽学部一般入試と同一期間とする。
選 抜 期 日	各学科の一般入試志願者と同一期日とする。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学における一般入試との併願は認めない。</li> <li>・ 本学が実施する個別試験は日本語により行う。</li> <li>・ 本学における授業は、一部分を除き日本語で行う。</li> </ul>

## 10. 障害のある入学志願者の事前相談について

下表（学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠）に該当する者は、受験及び修学の際に特別な措置を必要とすることがあるので、各学部学生募集要項の発表後から平成30年1月5日（金）、美術学部帰国子女入試の場合は平成29年12月4日（月）、音楽学部SSP〔飛び入学〕入学者選抜の場合は平成29年10月6日（金）までの間に、志望する学部と相談すること。

ただし、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、大学入試センター試験で「代筆解答」の措置を申請する志願者が本学に出願する場合は、大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に、志望する学部と緊密に相談すること。

なお、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、下表に該当する場合は、速やかに出願した学部と相談すること。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 （強度の弱視を含む。）	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 （強度の難聴を含む。）	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 （身体虚弱を含む。）	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記の区分以外の者で特別措置を必要とする者

注1. 事前相談には、相当の日数を要する場合もあるので、十分注意すること。

2. 高等学校を卒業した者は、学部との事前相談に際し、出身学校長等とも相談すること。

## 11. 平成30年度東京藝術大学美術学部芸術学科入学者選抜（一般入試）の実施日程の一部変更について（予告）

### 29年度入試（変更前）

日 程	個別学力検査等
2月28日（火）	外国語・地理歴史
3月 4日（土）	第1次合格発表
3月 6日（月）	小論文または鉛筆素描



### 30年度入試（変更後）

日 程	個別学力検査等
2月27日（火）	外国語・地理歴史
2月28日（水）	小論文または鉛筆素描
	※ 1次合格者選抜は行わない ※ 出題科目は変更なし

## 12. 平成30年度東京藝術大学美術学部彫刻科の入学者選抜（一般入試）の個別実技検査等の変更について（予告）

### 29年度入試（変更前）

日 程	個別学力検査等
1次試験 3月 4日（土）	素描
2次試験 3月 7日（火）	素描
3月 8日（水）	彫刻



### 30年度入試（変更後）

日 程	個別学力検査等
1次試験 3月 4日（日）	素描
2次試験 3月 7日（水）	彫刻Ⅰ
3月 8日（木）	彫刻Ⅱ（塑造）

## 13. 平成31年度東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻入学者選抜（一般入試）の一部変更について（予告）

平成31年度より、東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻入学者選抜（一般入試）では、実技試験において、素描・絵画に加え、新たに面接を導入します。

## 14. 平成30年度東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻入学試験内容の変更について（予告）

平成30年度より，音楽学部邦楽科日本舞踊専攻の入学試験内容について以下のとおり変更する。

### 音楽学部邦楽科日本舞踊専攻

変更前

第一回	省略
第二回	<p>A. 自由曲 1 曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参，提出し，試験官の指定する箇所を踊る。</p> <p>B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。</p> <p>C. 本学で用意した音を聴いて，その場で振りをつける。</p>
(注) 省略	



変更後

第一回	省略
第二回	<p>A. 自由曲 1 曲 課題曲を除く，昭和20年（1945年）以前に作曲された曲を選び，カセットテープに録音したものを試験当日に持参し，試験官の指定する箇所を踊る。</p> <p>B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。</p> <p>C. 試験官の用意した振付を 3 回見て覚え，その場で同じ振りを踊る。</p>
(注) 省略	

## 15. 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

### 1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

### 2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1. (1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
  - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
  - ②杜の会（美術学部同窓会）
  - ③同声会（音楽学部同窓会）
  - ④東京藝術大学生活協同組合

## 16. 学部・学科の内容

本学の専門教育の特色は、美術学部においては主としてアトリエを中心とした制作活動に、音楽学部においては個人レッスンを中心とした個人指導によって学生の実技修練、創造性の開発を図ることにある。

学部・学科及び専攻等は、次のとおりである。

### 美術学部

学 科	専 攻	主 な 専 門 科 目
絵 画 科	日 本 画	日本画実技制作，素描，古典模写（1～4年次） 版画，壁画実習（3年次）
	油 画	基礎実技課程1～2年次，専門実技課程3～4年次 （ドローイング，絵画，現代美術，版画，壁画，油画技法・材料）
彫 刻 科		素描，塑造，木彫，石彫，金属，テラコッタ，その他実材造形 （1～4年次），古典研究（2年次），彫刻論（2・3年次）
工 芸 科	彫 金 鍛 金 鋳 金 漆 芸 （漆芸・木工） 陶 芸 （陶・磁・ガラス造形） 染 織	基礎実技 実材実習，絵画実習，塑造実習（1年次） 専攻基礎実技（2年次） 各専攻実技（2～4年次） 工芸総合実技（3年次）
デザイン科		基礎実技・デザイン実技・デザイン技法 （1年次） デザイン実技・デザイン技法 （2年次） デザイン実技・他にデザイン専門科目 （3～4年次）
建 築 科		設計製図（1～4年次） 他に「建築計画」等専門科目
先 端 芸 術 表 現 科		実技，基礎・専門（1～4年次） 概論・演習（1～3年次） 他にメディア・リテラシー基礎・応用他 インターメディアアート専門科目（1～4年次）
芸 術 学 科		美学・日本美術史・東洋美術史・西洋美術史・工芸史の概説 （1～3年次） 基礎造形実技（油画・日本画・彫刻，1～2年次） 特殊講義・演習（1～4年次） 古美術研究旅行（2年次） 卒業論文（4年次）

備考 詳細については、「大学案内」を参考にすること。

音楽学部

学 科	専攻 (声種・楽器等)	主 な 専 門 科 目
作 曲 科		作曲実技Ⅰ，Ⅱ，厳格対位法とフーガ，管弦楽法（実習），楽曲解析，作曲研究，学内演奏（４年次），ピアノ（１～２年次），ソルフェージュ，卒業作品
声 楽 科	独 唱 オ ペ ラ （ソプラノ） （アルト） （テノール） （バス）	声楽実技（１～４年次），合唱（１～３年次），声楽アンサンブル（室内合唱）（３～４年次），学内演奏，オラトリオ，オペラ基礎，オペラ実習，声楽史，オペラ史，ピアノ，ソルフェージュ，和声，卒業演奏
器 楽 科	ピ ア ノ オ ル ガ ン 弦 打 楽 楽 管 打 楽 楽 古 楽 楽 （バロックヴァイオリン） （リコーダー） （チェンバロ）	各専門楽器実技（１～４年次），学内演奏会（３～４年次），ソルフェージュ，西洋音楽史，和声（１～２年次），卒業演奏 以上は各専攻共通，以下は各専攻により加わるもの （ピ ア ノ）合奏（１～４年次），伴奏（１～２年次） （オルガン）通奏低音実習（１～２年次），オルガン概論（１年次） （弦 楽）ピアノ（１年次），弦楽合奏（１年次），室内楽（１～４年次），オーケストラ（２～４年次） （管 打 楽）ピアノ（１年次），室内楽（１～４年次），吹奏楽，オーケストラ（２～４年次） （古 楽）古楽アンサンブル（１～４年次），通奏低音実習（１年次）
指 揮 科		指揮実技，指揮理論（１～４年次），学内演奏（４年次），ピアノ（１～２年次），スコアリーダーディング，ソルフェージュ，弦管打楽器実技，和声（１～２年次），卒業演奏
邦 楽 科	三 味 線 音 楽 （長唄三味線） （常磐津三味線） （清元三味線） 長 唄 常 磐 津 （清 元） 箏 曲 （山 田 流） （生 田 流） （現 代 箏 曲） 尺 八 楽 能 楽 囃 子 能 楽 囃 子 邦 楽 囃 子 （邦 楽 囃 子） （現 代 邦 楽 囃 子） （打 楽 器 ・ 笛） 日 本 舞 踊 雅 楽	各専攻実技（１～４年次） 各専攻実技総合実習（１～４年次），学内演奏（４年次），各専攻関連実技（１～４年次），邦楽合奏研究（３年次），各専攻演奏論（１～４年次），邦楽実技論（１～２年次），ソルフェージュ，西洋音楽理論，卒業演奏，研究旅行（３年次生優先）
楽 理 科		音楽学各分野の概説（西洋音楽史，日本音楽史，東洋音楽史，音楽美学，音楽理論，音楽民族学），初級演習，ソルフェージュ，和声，副科実技，講義，演習，楽書講読（英，独，仏，羅，伊，日，中，露），研究旅行，音楽学実習，卒業論文
音 楽 環 境 創 造 科		プロジェクト，音楽環境創造概論（音楽，音響，芸術と社会，芸術論），音楽理論演習，録音技法研究，音響心理研究法，芸術運営論，文化理論演習，舞台芸術論，卒業制作・研究

備考 詳細については、「大学案内」を参考にすること。



## 17. 本学のキャンパス

本学のキャンパスは、「上野校地」、「取手校地」、「横浜校地」及び「千住校地」があります。

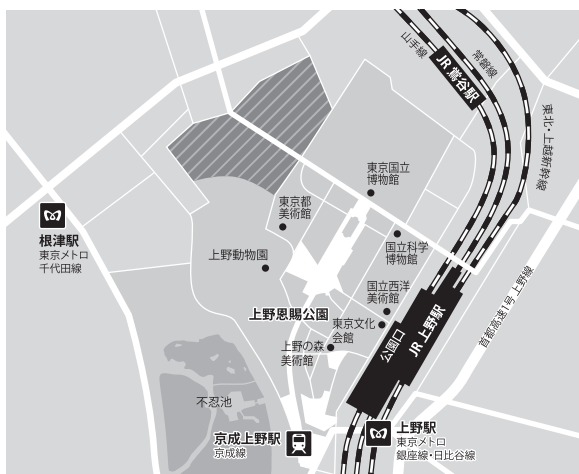
取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降に対して授業を行っています。千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行います。その他はすべて上野校地で授業を行います。

### 上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

#### [交通機関]

JR 上野駅（公園口）または鶯谷駅下車 徒歩10分  
 東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅下車 徒歩15分  
 東京メトロ 千代田線 根津駅下車 徒歩10分  
 京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分



### 千住校地

〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

#### [交通機関]

JR/東京メトロ 千代田線・日比谷線/東武鉄道  
 東武伊勢崎線/  
 首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス 北千住駅  
 (西口) 下車 徒歩5分

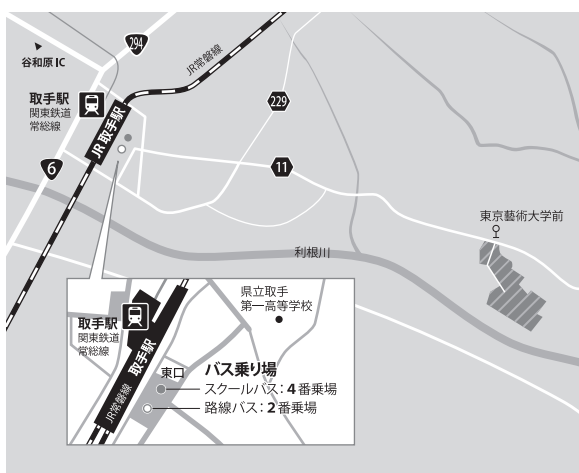


### 取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

#### [交通機関]

JR 常磐線 取手駅※東口から大利根交通バスで約15分  
 (約5.9km)  
 「東京藝術大学前」下車徒歩10分  
 ※上野駅から約40分



## 18. 学生募集要項（一般入試）について

学生募集要項については平成29年度入試よりWeb掲載のみとなっています。（音楽学部SSP入試を除く）

東京藝術大学入試情報サイト (<http://admissions.geidai.ac.jp/>) に掲載される学生募集要項を確認の上、インターネットよりお願いしてください。

Web掲載時期 美術学部学生募集要項 平成29年11月下旬予定

音楽学部学生募集要項 平成29年12月上旬予定

個別試験の出願期間 平成30年1月22日（月）～1月31日（水）

### 学生募集要項（音楽学部SSP[飛び入学]）の請求方法

#### イ. 藝大まで来られる場合

第2守衛所（音楽学部正門）で配布。（請求部数の多い場合又は質問のある方は、音楽学部教務係に申し出てください。）

#### ロ. 郵送で請求する場合

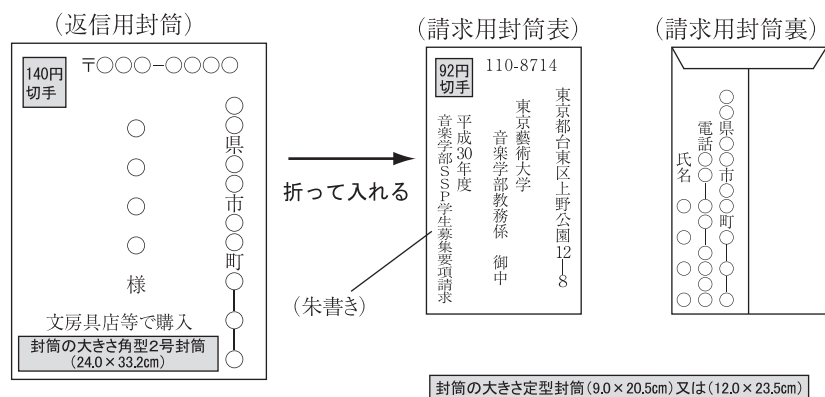
あなたの住所・氏名を角型2号（24.0cm×33.2cm）の大きさの返信用封筒に記入し、140円切手を貼り、折りたたんで定型封筒に入れ送付してください。（下図を参照すること。速達の場合は、280円を加算してください。）

#### ハ. 海外から請求する場合

100g 料金相当の国際返信用切手券を同封の上、請求してください。

### 記入方法等の説明図

#### 音楽学部



東京藝術大学への各種問い合わせについては、次により行ってください。

○入試案内 ホームページアドレス

<http://admissions.geidai.ac.jp/>

○入学者選抜等

事務局学生課入学試験係 ..... (☎050-5525-2075)

美術学部教務係 ..... (☎050-5525-2122)

音楽学部教務係 ..... (☎050-5525-2309)

電話による問い合わせの場合は、

月曜日から金曜日（ただし、土曜・日曜・祝祭日は除く。）

9時00分～12時30分、13時30分～16時30分

※やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。